GTFS初任者講習会
2025年7月18日
於：ヴァル研究所、オンライン

GTFSデータリポジトリご紹介

（一社）日本バス情報協会　専務理事
地域・交通データ研究所　代表
東京大学空間情報科学研究センター　客員研究員

西澤　明

nishizawa@csis.u-tokyo.ac.jp

GTFSデータリポジトリとは何か

- 「リポジトリ」とは「貯蔵室」が原義で、「データの置き場」という意味です。

- GTFSデータリポジトリは、
  ① GTFSデータを作成したバス事業者や市町村がGTFSデータをアップロードし、
  ② データ利用者がそれを自由にダウンロードできる
  ウェブサイトです。

- GTFSデータの
  ① オープンデータ公開
  ② 利用者が容易にデータを取得できること
  ③ 利用促進
  を実現するものです。

- (一社)社会基盤情報流通推進協議会(AIGID)が運営し、日本バス情報協会が協力しています。

GTFSデータリポジトリの特徴・メリット

GTFSデータを作成・公開する市町村、バス事業者のメリット

- リポジトリのウェブサイトから簡単にGTFSデータがアップロードできる （データ掲載費用なし）

  →役場や会社のウェブサイト担当に依頼したり、ページを書き換える手間は不要
- ただし、初回は、市町村・バス事業者としての登録をしていただきます

  →市町村、バス事業者が作成した公式のGTFSデータであることを確認
- GTFSデータを更新したら追加でアップロードすればよい

  →将来のダイヤ改正データもそのままアップロード。リポジトリが自動で時系列管理
- ダイヤ改正内容などの付加情報も入力・表示できる
- 固定URLでデータ配信（最新の現行データ、ダイヤ改正将来データ）

  →グーグルや経路検索事業者へは固定URLを連絡しておけばよい

  →市町村や会社のHPにダウンロードリンクを置くときもURLを書き換える手間なく最新データを配信可能
- GTFSデータアップロード時にデータ評価ツール（Validator）でデータチェック
  チェック結果を日本語表示、警告への対応方法も表示

  →通常は英語となるCanonical GTFS Schedule Validatorの評価結果を日本語表示

  対応方法や無視してもよいケースなどを説明してくれるので、グーグルの品質審査前にデータの修正が可能

GTFS Schedule Validation Report

エラー: 0件, 警告: 17件, 情報: 0件

This validation report was generated using the Canonical GTFS Schedule validator.

Use this report alongside the RULES.md file to get more details about the validation issues.

通知コード	説明	日本向け注	重要度	件数
+ missing_recommended_field	設定を推奨する列がない	GTFS拡張対応	警告	2
+ missing_timepoint_column	発着時刻精度（timepoint）列がない	推奨変更対応	警告	1
+ platform_without_parent_station	platform_codeが設定されているが親停留所が無い	やむを得ない	警告	12
+ same_name_and_description_for_stop	stop_descがバス停名と同じになっている		警告	2

日本向けに除外した通知

以下の通知は、日本特有の事情などにより生じるもののうち、修正が困難、かつ実害が無いため、集計から除外しています。

通知コード	説明	日本向け注	重要度	件数
+ non_ascii_or_non_printable_char	idに非ASCII文字または印刷不能文字が使われている	無視してOK	警告	17234
+ unknown_column	GTFSの仕様で定義されていない名前の列がある	無視してOK	情報	2

GTFSデータを利用する側のメリット

- 公開されているGTFSデータを簡単に探せる
- 固定URLでデータ配信（最新の現行データ、ダイヤ改正将来データ）

  →グーグルや経路検索事業者は最新情報を固定URLで取得可能
- データが時系列で管理されており、ほしい時期のデータが使える

  →将来のダイヤ改正データも取得できるので、経路検索事業者は遅滞なく検索結果に反映できる

  →データが蓄積してくれば、過去のデータも取得でき、地域の公共交通分析での新旧比較にも使える
- ダイヤ改正内容などの付加情報も利用できる
- データ一覧情報やデータ自身を取得するAPIがあり、GTFSデータを利用するシステム・アプリ開発が容易

  →GTFSデータの利用範囲が広がる、データ整備効果が上がる
- GTFSデータアップロード時のデータ評価結果（2023年4月27以降にアップロードしたデータのみ）が表示されるので、データ利用時にデータの品質を確認できる
- 日ごとの新着情報は、日本バス情報協会のサイトで発信

GTFSデータリポジトリ新着情報（逐次作成版）

日付	組織数	フィード数	ファイル数
2025-07-11	365	497	3819

新着種類	組織	フィード	GTFSファイル	公表日	開始日	終了日
2025年7月11日						
組織	身延町					
フィード	身延町	飯富本栖湖線				
フィード	身延町	古関循環線				
フィード	身延町	古関甲斐岩間線				
ファイル	身延町	古関循環線	ファイル	2025-07-11	2025-04-01	2026-03-31
ファイル	身延町	古関甲斐岩間線	ファイル	2025-07-11	2025-04-01	2026-03-31
ファイル	身延町	飯富本栖湖線	ファイル	2025-07-11	2025-04-01	2026-03-31
ファイル	八幡観光バス	八幡バス	ファイル	2025-07-11	2025-07-09	2025-12-31
ファイル	中津川市	中津川市コミュニティバス	ファイル	2025-07-11	2025-07-09	2025-09-30
ファイル	三重交通	伊賀営業所	ファイル	2025-07-11	2025-04-01	2025-10-12

- GTFSデータの利活用が進む
- バスの利用促進
- 公共交通計画、地域活性化、まちづくりなどへの活用

https://www.busdata.or.jp/repository/news2.php

GTFSデータを利用する側のメリット

- QGISというGISソフトでリポジトリで公開しているGTFSデータの路線図、運行頻度図が簡単に作成できる
- GTFS-GOというQGISのプラグインを利用する
- 最新バージョン 4.1.2(2025/6/27)

東京都（都営バス・港区ちいばす）　熊本市（バス５社・鉄軌道２社）　稚内市（宗谷バス・北都交通）

大都市から過疎地までシームレスに描画（全て同縮尺）

GTFSデータリポジトリの利用方法（データ提供側）

GTFSデータ公開の手順

AIGIDアカウント取得

↓

リポジトリに組織（市町村やバス事業者）作成申請

↓

リポジトリ内でバスの種類（GTFSデータの作成単位）を設定

↓

GTFSデータアップロード（検証ツール）

↓

（検証結果を踏まえて）GTFSデータ公開

公開後のデータ利活用促進

- グーグルや経路検索事業者へ連絡
- 市町村やバス事業者のHPのデータ公開ページがあれば、リポジトリのURLを設定
- 公共交通計画、都市計画などでの利用

- 詳しくは、リポジトリのサイト（https://gtfs-data.jp）に「データ登録ガイド」がありますのでご覧ください。